

「子供の成績をプラス30点アップする方法」  
番外編

学習ジム・コーチ

この章では、「番外編」として、「調査書（内申点）」の対策について書いていきたいと思います。

中には、「調査書（内申点）」は無関係の学校を受験するお子さんもあるかと思いますが、この章に書かれている「家庭訪問対策」についてはすべての学年に利用できますので、参考にしてください。

■ 当日のテストだけでは決まらない入試。

「高校入試」に関していえば、大抵の学校が、「**中学の調査書（内申点）**」と「**入試**」の2つによって合否が決定されます。私もインターネットの学習塾をやっている、北は北海道から、南は九州まで会員がいますが、例外なく、この2つで決定されます。

ですから、入試に合格する場合には、「**学業のアップをはかる**」ということも大切ですが、この「**調査書（内申点）**」対策が必要なのです。

また、「**学校の成績が無関係**」と思われる高校生でも、「**推薦入試**」を希望する場合は、「**学校の成績**」が加味されますので、ご注意くださいね。

さて、「**調査書（内申点）**」対策の前に最初にやっておかないといけないことがあります。それは、

「**入試情報については事前に調べておく**」

ということです。これは、意外なことなのですが、大抵の人は、

「**入試情報については、早目に知っている人は少ない**」

のです。例えば、内申点については、各県や学校によって大きな違いがあります。

中1の成績から中3の成績まで入る

中2の成績から中3の成績まで入る

中3の成績だけで、2学期まで入る

中3の成績がすべて入る

という具合に、県や学校によって違いがありますので、これを先に調べておくことが重要です。

今はネットですべて調べることができますので、「**高校入試**」で言えば、「**〇〇県教育委員会**」

で検索します。

ヤフー

<http://www.yahoo.co.jp/>

グーグル

<http://www.google.co.jp/>

で実際に検索してみてください。そして、そこで、

「平成〇〇年〇〇県高等学校入試選抜入学者選抜要綱」

というタイトル（県によって多少違います。）を探してください。それが、その県の高校入試の情報ですね。また、それが見当たらなければ、「各県の教育委員会」に電話をして、そのページを教えてもらってください。

例えば、三重県であれば、「三重県教育委員会のホームページ」ではなく、「三重県学校ネットワーク」というホームページが別に掲載されています。

そういったページで入試要綱の情報を得るのです。そして、毎年これをチェックしておく必要があります。これは、「私立中学」「私立高校」「大学」でも同様に、「要綱」についてはチェックしておくべきでしょう。

そして、ここからが大切ですが、

**「要綱を読んで不明点は、担当者に確認を入れておく。」**

ということです。これは絶対に重要です。

インターネットで検索していくと、他にも教育関係の業者（教材会社、塾など）も同様にいかにもわかりやすく「入試情報」について書かれているホームページがあります。しかし、これが必ずしも正しいわけではありません。

実際に私も「三重県高校入試」について調べましたが、中には間違った内容がホームページに書かれていましたので、あなた自身が正しい情報を確認してください。

一番正確な情報は、「要綱を作ったところ」ですから、必ずそちらでチェックしておきましょう。つまり、各県の教育委員会や、直接学校に問い合わせしておくことです。

それでは、次に「学校の調査書」についての対策を書いていきます。

4月9日付の朝日新聞でこのようなタイトルの記事が載っていました。

## 「中学内申点大きな偏り」

理科で「5」の生徒比最大49.5%、最小7%

ある中学校では理科の内申点に「5」をつけられた生徒が半分近くいるのに、別の中学校では「5」はたった7%。県内の高校入試の合否判定で使われる調査書の内申点のつけ方に中学ごとで大きな隔たりがあることが、情報公開された後からわかった。県教育委員会は「一部の中学校の間で極端な偏りがあるのは事実で、評価の精度を上げていく必要がある」としている。

■■■05年度入試の調査書で「5」をつけた割合■■■

	国語	社会	数学	理科	英語
最大値	39.7%	47.8%	44%	49.5%	45.3%
最小値	6.3%	7.6%	7.8%	7%	7.5%
県平均	19.3%	23.4%	20.8%	21.5%	23.2%

最大値と最小値は情報公開された101中学校（私立5校含む）の値。県平均は県内全公立171校の平均

（平成19年4月6日 朝日新聞 三重県版より）

この記事は、朝日新聞が情報公開請求して05年度高校入試の際に中学が提出した「評定分布表」からの抜粋です。この表には、「1」～「5」をつけた人数が科目ごとに記載されています。このデータは、県内の私立を含む全中学176校のデータを請求した結果、中学3年の生徒数が80人以上の101中学が公開されたものです。

この表をよく見てください。理科では、「5」をつけた学校が最大で49.5%と約半数につけた学校もあり、最小では7%とその差はなんと7倍にもなっています。「甘い」評価をする中学の中には、理科で98%以上の生徒に「3」以上つけていたところもあるのです。

私は、3年以上前に「絶対評価」に対して疑問があったので、県の教育委員会に、「絶対評価に対する基準は？」という質問を電話でしたことがありました。それに対する回答は、「そういった基準はなく、学校に任せている」ということでした。実際にその後やはりというべきか、このような新聞記事が出てきたの

です。

このように、内申点をいうのはある意味が、この先生の「主観的個人評価」の部分が多いのでその部分に対策が必要なのです。

## ■調査書対策（その1）

### 1. 家庭訪問対策

「家庭訪問に対する対策？」

というと少し変な話ですが、実際に担任の先生には1年間お世話になるわけですから、出来れば、あなたのお子さんのことを良くわかって、先生に指導してもらえればいいですね。

特にお子さんが小学生であれば、ほぼ全科目にわたって授業を受け持ってもらうので、あなたの子供のことをよくわかって指導してもらえればいいです。もっというならば、「先生に目をかけてもらえば」それに越したことはありません。

というのは、学校の先生も、一度に20人も30人も見るわけですから、中々一人一人のことを正確に知ることも難しいのです。そして、学校にもよりますが家庭訪問の際にノートやメモ帳を持参しない先生もいらっしゃるので、家庭訪問で父兄が話したこともすべてを覚えていません。

そのため、お子さんのことを書いた資料があれば、先生も役立ちますし、また、ここで、自分の子供のことを担任の先生にアピールするチャンスですから、しっかりとアピールしてくださいね。

というのも、お子さんの良いところを先生に知ってもらうことで、「子供の良さを引出してもらうことができる」からです。また、「相手のことを知れば、許すことができる」からです。

それでは、「相手のことを知れば許すことができる。」という内容で、少しお話ししますね。私がバスに乗っていた時のことです。二人の子供がバスの中で騒いでいたのです。私だけでなく、周りの人も迷惑そうな顔をしていました。

そこには、父親と思われる人物がいたのですが、子供を注意することもなく、何ら「ぼーっ」と遠くを眺めていたのです。私が、その父親の方を向いているとその父親がポツリと話し始めたのです。

「すみません。お騒がせして。実は、あの子達の母親が、今朝病院で亡くなったのです。本当に子供たちも悲しいのですが……。それを紛らわせるようにはしゃいでいるのです。」

と語りました。私と、周りで聞いていた乗客たちも、先ほどまで、疎ましく感じていた子供たちに対して、今度は暖かい目で見守るようになったのです。

これは、私が以前聞いた話の内容です。いかがですか？もちろん、公共の場で騒ぐことは、決していいこととは思いません。しかし、子供の状況を知ったとたん、子供たちのことを許すことができるのです。

ですから、先生に事前伝えておかないことは、先生にきちっと伝えておくことが必要なのです。

## 【1】家庭訪問の事前準備

毎年、家庭訪問が行われますが、その前に準備しておくことを書きますと、

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 担任となって良かったところ、お礼をいうところを事前に準備しておく。</li><li>② プロフィールシートの作成</li></ul> |
|--|

### ① 先生の良かったところ、お礼をいうところを準備しておく

その理由については、後ほど述べますが家庭訪問の際に、「先生の良い点」「お礼を言うべき点」について、事前に見つけておきましょう。

家庭訪問の時期は、先生と知り合って短い期間ですので、先生の良いところを見つけるのは難しいのですが、「お礼」をいうことがあれば見つけておきましょう。

(褒める場合)

「〇〇先生のような厳しい先生で喜んでます。」  
「先生のような評判の良い先生で良かったです。」

(お礼をいう場合)

「早速宿題を出してくれてありがとうございます。」  
「いつもたくさん宿題を出していただきありがとうございます。」  
「先日のバス通学の際にはご心配いただきありがとうございます。」

## ② プロフィールシートの作成

プロフィールシートに記入してもらう項目は（実際のプロフィールシートをつけていますので、それをコピーして記入してください）

子供の長所（5こ）  
子供の改善点（1～2こ・・・特に注意して欲しいところ）  
我が家の指導方針  
注意事項（病気、食事、体育などで気をつけて欲しいこと）

などを書いて、先生に1部渡せるようにしておきましょう。  
（1部は、自分ところの控えです）

書き方も、「長所」と「改善点」も紙一重ですので注意して下さいね。

<改善点>

<長所>

無口	見方を変えると	余計なことを言わない
うるさい		元気

という具合です。などです。他にも食べ物の好き嫌いや、アレルギー、病気などについて書いておきましょう。また、以前にいじめを受けた場合は、それを書いておきましょう。そして、これらをコピーして、1部は（先生用）、もう1部は（控え用）としてご自身で持っておきましょう。

## 【2】家庭訪問当日

もちろん、自分の子供が必要以上に良く思われたいとは思いませんが、実際よりも悪く思われるのも困ると思いますよね。さらに付け加えると、学校の先生も

「うるさい家にはしっかり対応する」

「うるさい家にはしっかり対応する」  
というのが正直な感想です。

ですから、私の家では常に、家庭訪問のときは私と家内が立ち会っているのです。相手の先生も男親がいる場合はやはり少し違ってきます。

ただ、「やみくもにうるさい家には先生も嫌がる」ので注意してくださいね。何事もほどほどです。ここでは、先生という職業の人と接するポイントについて書いておきます。

先生という職業の人と接するときには大切なことは、

**「先生に対する敬意を表し、丁寧に低姿勢で接しつつ、言葉は丁寧だが言いたいことははっきりという。」**

というのがコツです（笑）。実は先生という名前の職業の人は、人一倍「プライド」が高いのです。ですから、決して先生の立場を損ねることなく接していき、かつあなたの家庭の要望は通していくということです。

ですから、家庭訪問のスタートでは、最初に

「先生にお礼をいう」「先生を褒める」

ということ言えるわけです。当然当日に考えて出来れば良いですが中々できないので事前に決めておくのです。

このように書くと、何かテクニク的なことに聞こえますが、実際に「先生の長所」を見つけたり、「先生に対するお礼」をいうところを探していくと、先生に対する感謝の気持ちが自然と生まれてくるのです。学校の先生もいろいろな先生がいらっしゃいます。「素晴らしい先生」もいらっしゃいますし、そうでない先生もいらっしゃいます。例えば、

「授業が下手。」

「気配りが少ない。」

「子供に対する配慮がない。」

「生徒に対して甘い。」

という先生であっても、

「授業は下手だが、子供に対する気配りが上手。」

「気配りが少ないが授業が上手。」

「子供に対する配慮がないが宿題はしっかり出す。」

「生徒に対して甘いが子供の気持ちをくみとってくれる。」

という具合に、その先生の良いところが見えてくるのです。

次に、事前に作っておいた「プロフィールシート」の2部のうち、1部を渡しましょう。これを、担任の先生に渡すと大抵の先生が、

「ほっー。」

とって、今までと違ってしっかりと構えて聞いてくれます。

そして、先生からは、

「先生の指導方針」「今の学年にやっておくべきこと」

などを聞くようにしましょう。また、学年の始まりは、最初が肝心です。実は、「学校の先生が読む授業に関する本」の中でも、「最初の授業3回分で、1年間が決まる。」というぐらい新年度の最初は大切なのです。同様に、

「えっー。あの先生が・・・。」

という先生でも、最初にきちっとしておけば、自分の子供関しても、担任の先生はよくしてくれます。

(少なくとも私の子供に関しては、世間でいう評判のよくない先生でも、良くしてくれました。)

---

ポイント「必ず文書化して、残るようにしてくださいね。」

---

これは、とても大切なので、もう一度言いますね。

---

ポイント「必ず文書化して、残るようにしてください。」

---

そうすると先生も、お子さんのことが頭に残りやすいです。そして、この一部を先生に渡していただいて、残りを自分の家で保管しておいてください。(食べ物アレルギーなどで万が一トラブルになったときも、「先生に言った。」「聞いていない」などのトラブル対策にもなります。)

実は、これをするようになったのも私が子供の情報を文書化していたお陰で、

大きな失敗を塾でしなくてよかったからなのです。

■ 調査書対策（その2）

あまりにも当たり前の話ですが、調査書対策として重要なのが、  
「**担当の先生から出された提出物を期限内にきっちりと提出する。**」  
ということです。これは、本当に当たり前のことなのですが、これができてい  
なかったばかりに、今まで私は何度これに苦しめられたか知れません。

「今度の通知表どうだった？」

「『4』だった。」

「えっ。テストも95点だったのに……。どうして？」

「……。ワークの提出を2回ともしていなかった。」

「えっ？ そうなの？」

こういった会話は何度も経験しています。受験生になり、勉強ををはじめ実力  
もついてきて、模擬試験でも「合格ライン」に入ってきた……。

しかし、「内申点」が足りないで志望校をワンランク下げなければならない。  
こうならないように、提出物はしっかりと期限内に提出するようにしてくだ  
さい。

# プロフィールシート

平成 年 月 日

親から見た わが子の 長所		わが子の 気にかか ることや 心配なこと	
親から見た わが子の 改善点して ほしい点		先生に 指導して 欲しい所	
我が家の 指導方針		家庭訪問 での注意 事項	

記入例

のびたのプロフィールシート

平成19年4月23日

<p>親から見た わが子の 長所</p>	<p>一生懸命努力する子供です。 小さな子供に對して大変優しく接するこ とができます。 のんびりとして、人と争わず、性格です 、紙杯で、自分の感情を辛直に表現できます。 他人と協力的にやっています。</p>	<p>わが子の 気にかか ることや 心配なこと</p>	<p>卵アレルギーなので、卵を含んだ湿疹が起き 、いじめられやす、いじめに特に注意して 見ていたみたいです。 健康面 で、勉強、お稽古 で、心の成長と 記入しやす。</p>
<p>親から見た わが子の 改善点して ほしい点</p>	<p>のんびりとしているので、もう少し早歩きしてほ しい。 勉強があまり得意でない、勉強の おもいよさを知って取り組んでほしい。</p>	<p>先生に 指導して 欲しい所</p>	<p>・宿題を出されていなくて勉強しないので 宿題を出さなくさん出していったみたいです。 宿題と忘れたら優しく指導をお願いします。 家庭訪問 での注意 事項</p>
<p>我が家の 指導方針</p>	<p>勉強とスポーツを両立させる。 他人に對して、まじめに挨拶ができて 子になる 何事にも一生懸命に取り組む子になる てほしい。</p>	<p>家庭訪問 での注意 事項</p>	<p>冬が下校16時30分 忘れ物、が、多いので家庭でもおと配って か。 おまじす ことX元 おまじす おまじす</p>

「嫌味」の  
おまじすに  
アレルはす。

あまり、強引  
なと、と、と、  
にするので、  
やから書く

家庭訪問  
で、注意を  
かけたり、  
おまじす、た  
ことX元  
おまじす

先生の意見を記入するが、  
自分の家での針は、おまじす、書いておくと、  
先生への御礼と回答できます。